

経営理念

より安全で快適な社会作りに全力で貢献する
技術を磨き、誠実にものづくりを行う
全社員が相互に物心両面での幸せを追求する



To Our Shareholders 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行を受け、行動制限や水際対策の緩和など、経済活動の正常化が進み、一部景気の持ち直しは見られましたが、長期化するウクライナ情勢への懸念や円安による資源価格及び原材料価格の高騰などを発端とした、急激な物価上昇等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する建設業界におきましては、改正国土強靱化基本法の成立やアフターコロナの経済回復を背景に受注環境の改善が見られましたが、労働力不足の深刻化や調達価格の高騰、脱炭素化へ向けた対応など、引き続き注視が必要な状況となっています。

そのような経営環境のなか当社は、高騰する原材料への対応として製品価格適正化の継続や、お客様の必要な情報提供を目的とした社内オペレーションのDX化を推進、また脱炭素に向けた新たな製造技術の開発や、お客様のニーズを積極的に取り入れた新製品開発に取り組んでまいりました。

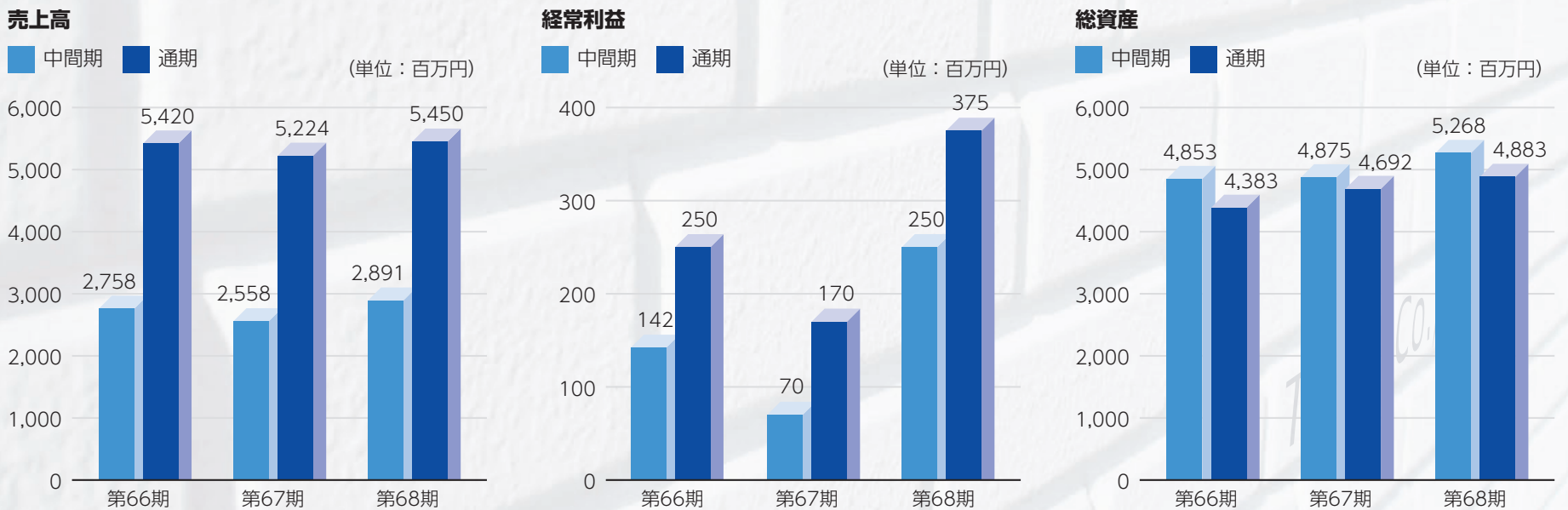
この結果、当事業年度の業績は、売上高54億5千万円（前期比4.3%増）となりました。利益面では、営業利益3億2千1百万円（前期比117.1%増）、経常利益3億7千5百万円（前期比119.5%増）、当期純利益は2億4千3百万円（前期比121.2%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年9月

株式会社武井工業所
代表取締役 武井 厚

第68期財務ハイライト



貸借対照表

(単位：千円)

科目	第67期 2022年6月30日	第68期 2023年6月30日
流動資産	2,136,587	2,364,245
固定資産	2,556,022	2,519,357
資産合計	4,692,609	4,883,602
流動負債	1,933,237	1,935,360
固定負債	731,448	683,723
負債合計	2,664,685	2,619,083
純資産合計	2,027,924	2,264,519
負債・純資産合計	4,692,609	4,883,602

Point

当期のポイント

当期の建設業環境は慢性的な人手不足や建設資材価格の高騰等で、依然として厳しい状態が続く、前年と比較して、公共事業に関しては鹿行地区の国道改修工事や、県北地区ゴミ処理施設の建設等、大型の物件はあったものの全体として減少傾向となり、前年の出荷量を下回る結果となりました。一方民間工事では、茨城県内の圏央道・つくばエクスプレス沿線を中心に大型物流施設・商業施設並びに宅地造成工事等の開発工事が進められ、シキール・ツメール・カクセルやセパロック、フリードレーンなど、当社オリジナル製品の受注が好調でした。このような状況のなか、高騰する原材料費を販売原価に反映する取り組みについても、お客様のご理解をいただきながら進めたことにより、一定の成果を上げることができました。

この結果、売上高54億5千万円(前期比2億2千5百万円増)、利益については当期純利益2億4千3百万円(前期比1億3千3百万円増)となりました。

今後、原材料価格のさらなる値上げも予想されるため製品価格の適正化に向けた取り組みを継続するとともに、新製品の開発や社内オペレーションの向上に努め、他社とのさらなる差別化を図ってまいります。

トピックス

製品

新製品「セパロック」の特許を取得しました！



「セパロック」はフェンス用基礎ブロックと境界ブロックを融合させた今までにない新発想の製品です。外構3兄弟「シキール、ツメール、カクセル」と同様に施工の省力化や一体化が図れる製品として、ご好評いただいています。

形状は細長でいたってシンプルなもの、特許取得は難しいとの認識でしたが、信頼のおける弁理士との出会いにより新たな道が拓かれました。

この製品の特長・特性や利便性を共有し、一緒に製品開発をした仲間のように親身になってご尽力いただきながら、知的財産技術として形を作っていました。その甲斐あってか特許申請から2年という短期間で特許を取得することができ、製品開発に関わった全員の努力が実る結果となりました。

既存製品の改良に加え、新たな市場を開拓するためにお客様の声に耳を傾け、より良い新製品開発をするなかで得たノウハウを積極的に知的財産化していくことが会社の資産を守り、ひいては会社の価値をより一層高めていくことにつながっていくと考えています。

今後も武井工業所の新製品、技術力を活かし社会に貢献してまいります。

インフラ長寿命化事業

今回ご紹介するのは、新設溝橋*のコンクリート調査業務です。

茨城県石岡市（一般県道石岡田伏土浦線石岡市井関地内道路改良工事）に位置する【井関橋】から新設溝橋への架け替え工事が行われています。

今回の業務では、

1. ひび割れ調査
 2. 調査機材を用いた非破壊による配筋探査
- の2つを行い、構造物の安全性を調査しました。

一般的にコンクリート構造物では、ひび割れを皆無にすることは困難であり、ひび割れを許容範囲内に抑制する手法がとられています。しかし今回の現場では、現場監督の方が外気の乾燥によりコンクリートに含有する水分の逸散によって引き起こる乾燥収縮ひび割れの予防対策を重点的に採用されていました。コンクリート打設後から散水や覆い等を施すなど、ひび割れの抑制をされており、その結果今回の調査では、各部材においてひび割れの発生は全く見つからず、コンクリートを扱う当社としても現場監督の方の品質への熱意と努力に感服いたしました。

これからも、専門知識をより深めていき地域の皆さまが安心・安全に過ごせるよう業務に取り組んでまいります。

※溝橋とは、道路の下を横断する道路や水路等の空間を確保するために盛土や地盤内に設けられる橋長2m以上で土被り1m未満の構造物です。



脱炭素社会実現に向けて

「aNET ZEROイニシアティブ」協定の締結をしました！



当社はセメント・コンクリート産業の脱炭素化に向けた取り組みを加速するプログラム「aNET ZEROイニシアティブ」のチャーターメンバーとして2022年10月19日に協定を締結しました。締結当初10社で結成していたプレキャストコンクリート製品メーカーも2023年6月29日には46社までに拡大した集団となっています。そのメンバー各社がそれぞれにネットゼロ達成の期限目標を設定し、目標達成への想いや創業の地の象徴をデザインしたロゴを公表しています。

当社は創業100周年目となる2039年を目標とし温室効果ガスのサプライチェーン排出量実質ゼロを目指し取り組みを進めていきます。「aNET ZEROイニシアティブ」は、政府が宣言した2050年までの「カーボンニュートラル」の実現よりも早い達成を目指し、メンバー各社による“期限付きネットゼロ運動”を業界として取り組み、脱炭素化のゴールに向かってお互いの力を結集して取り組む活動です。

これまでに、当社では社内の年間二酸化炭素排出量を算出し、発生要因の現状把握を行いました。また、低炭素型コンクリート製品の生産技術を開発すべく、メンバー複数社で技術開発チームを結成し実現に向けて取り組んでいます。

当社はこれらの取り組みを通じ、低炭素化を実現したプレキャストコンクリート製品を提供することで、メーカーとして脱炭素社会実現に貢献し、持続可能な未来を築くために努力し続けてまいります。



当社の脱炭素化コミットメントロゴのご紹介

名峰筑波山の水系が流れ込む霞ヶ浦にて伝統漁法を現代に伝える帆引き舟をあしらった当社の“コミットメントロゴ”には、多くの種類の魚や水生植物を育み、冬には渡り鳥が飛来するなど豊かな自然に恵まれた霞ヶ浦の自然を守り、後世に受け渡す決意が込められています。

インド進出の進捗状況



インドの工場では商業生産を開始してから、1年4カ月が経過します。今後のさらなる需要に対応するため、2023年6月からは2シフト制を導入し社員とワーカー合わせて250名程度で工場を稼働しています。日々の生産量はムンバイ～アーメダバード間の高速鉄道に使用する遮音壁を中心に最大280tに達し、徹底した品質管理プロセスにより一貫して高い品質の製品を生み出し、平均200tの製品をお客様の元へ出荷している状況です。今後も技術革新と品質向上に努め、インドのインフラ整備に貢献することを使命とし、より一層の発展を遂げることを目指します。インド事業について、引き続きご注目ください。

Jリーグ 水戸ホーリーホックとパートナー契約を締結！



Jリーグ 水戸ホーリーホックの「新しい原風景をこの街に」というブランドプロミスはその根底の部分において当社の経営理念と相通じると考え、このたび経営理念を実践するための手段のひとつとして水戸ホーリーホックとオフィシャルパートナー契約を締結いたしました。プロスポーツチームにしかない価値を当社経営に活かしてまいります。

SNSにて情報を発信しています。

当社ではSNSを使った情報発信を始めました。各部署から選ばれた若手社員が、様々な目線から当社の活動について発信をしています。武井工業所の“今”がわかる内容となっていますので、この機会にぜひご確認・フォローをお願いします。

<p>ホームページ</p>	<p>Facebook</p>
<p>X (旧Twitter)</p>	<p>インスタグラム</p>

会社概要 [2023年6月30日現在]

商号	株式会社武井工業所
創業	1939年7月
設立	1956年4月
資本金	100,000,000円
発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式の総数	3,542,000株
事業所等	茨城県石岡市若松一丁目3番26号
本社	明野工場(茨城県筑西市)
工場	小川工場(茨城県小美玉市)
	岩瀬工場(茨城県桜川市)
	栃木工場(栃木県下野市)
営業所	東関東営業部水戸営業課(本社内)
	東関東営業部つくば営業課(本社内)
	東関東営業部鹿行営業課(茨城県鹿嶋市)
	西関東営業部広域営業課(栃木県下野市)
	西関東営業部栃木営業課(栃木県下野市)
従業員数	207名(男191名、女16名)

株価の推移

単位株：1,000株

約定日	約定価格 (円)	約定数量 (株)	約定金額 (円)
2022年7月8日	110	10,000	1,100,000
2022年7月8日	116	10,000	1,160,000
2022年7月8日	110	2,000	220,000
2022年7月8日	116	2,000	232,000
2022年7月8日	110	2,000	220,000
2022年7月8日	116	2,000	232,000
2022年8月8日	110	1,000	110,000
2022年8月8日	116	1,000	116,000
2022年9月9日	110	2,000	220,000
2022年9月9日	116	2,000	232,000
2022年10月12日	110	4,000	440,000
2022年10月12日	116	4,000	464,000
2022年11月7日	110	3,000	330,000
2022年11月7日	116	3,000	348,000
2022年12月9日	110	1,000	110,000
2022年12月9日	116	1,000	116,000
2023年1月10日	110	5,000	550,000
2023年1月10日	116	5,000	580,000
2023年2月8日	109	1,000	109,000
2023年2月8日	115	1,000	115,000
2023年3月8日	105	2,000	210,000
2023年3月8日	111	2,000	222,000
2023年4月7日	109	8,000	872,000
2023年4月7日	115	8,000	920,000
2023年4月7日	105	2,000	210,000
2023年4月7日	111	2,000	222,000
2023年4月10日	110	1,000	110,000
2023年4月10日	116	1,000	116,000
2023年5月9日	109	1,000	109,000
2023年5月9日	115	1,000	115,000
2023年6月8日	108	1,000	108,000
2023年6月8日	114	1,000	114,000

株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基準日	1. 毎年6月30日 2. 中間配当を実施する場合は12月31日 3. そのほか、必要あるときはあらかじめ公告して 定めた日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話	0120-232-711 (フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告 (やむを得ない事由がある場合は日本 経済新聞に掲載して行きます)
URL	https://www.takei21.co.jp/



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。